

## 優秀賞

厚沢部町立厚沢部中学校 3学年 ほそはた 細畑 みほ 美帆  
将来の自分のために



「私たちはなぜ勉強をしなければならないのか」そう考えたことはないでしょうか。将来、教師や科学者になりたいという人はともかく、小学校、中学校で習った知識を使わない職業だってたくさんあります。しかし、義務教育があるということは、どんな人にとっても勉強はためになるという確信があるということです。

私は今まで、近い将来のことしか考えておらず、勉強をするのは良い高校に進学するためだと思っていました。しかし、「なぜ勉強するのか」という疑問が解けるような出来事がありました。

夕食の前、父と母が話している話題が耳にとまりました。マスク着用が義務だった頃、妹がマスクをせずに学校へ登校してしまいました。登校している途中にそれに気がついた妹は、いつも一緒に登校している友達の家に行き、

「マスク忘れたから、良かったらマスク一枚ください。」  
と言ったそうなのです。私の父はこの話を聞いて、  
「これが勉強する理由だ」

と言いました。

最初は、なんでこの出来事が勉強と関係があるのだろうという疑問が浮かびましたが、少し考えると、父の言っている意味が分かったような気がしました。解けなかった問題を解けるようにすることを勉強といいます。できなかったことができるようになるまでの過程も勉強であり、これこそが「私たちが勉強する意味だ」という答えにたどり着きました。学校で忘れ物をしてしまった時に、そのコピーをしてもらったり、代わりの物を用意してもらったりするなど、自分が困らないように必ず先生に言って解決するはず。当時一年生だった妹は、これまでの経験から、自分で解決策を見つけたのだと思います。そして、父はこれに驚き、ほめたのだと納得しました。

冒頭で、「学校で習った知識を使わない職業がたくさんある」と述べましたが、今回の出来事で「勉強」という言葉の意味が広がった私は考え方が変わりました。

「勉強」が役に立たない仕事は一つもありません。例えば、将来の夢がサッカー選手だという人。一見、勉強とは無関係な職業に感じます。しかし、サッカー選手に求められるのは、サッカーの技術だけではなく、一生懸命努力する姿勢、チームメイトとのコミュニケーション、挫折からの立ち直り方……。

「勉強」とは問題の答えを学ぶことばかりではありません。できなかったことをできるようにするための過程、つまり、自分の生き方をもっと良くするために、自分ができるところを考えられるようになること。これこそが「勉強する意味」なのだと思います。これは、スポーツ選手だけではなく、パティシエやプログラマーなど、あらゆる職業に共通して言えることです。上手いかなかったときの解決策、さらに上を目指すにはどうしたら良いかを考えられるのは、この「勉強」する姿勢を身に着けた人です。

「なぜ勉強しなければいけないのか。勉強をしなくても、将来仕事に就ける」と思ったことがある方は少なからずいると思います。確かに、勉強は難しいですし、誰もかれもが楽しいと考えるわけではありません。ですが、四苦八苦しながらも、勉強に向かうこと自体が、私たちが「勉強をする意味」なのだと私は思っています。学べる環境にいる今、将来のために「勉強」に励んでみませんか。